

## サイドウェイズ


この記事は、米ボウリング雑誌『Bowling This Month』の許可を得て、翻訳・掲載しております。本記事の著作権は発行元の Joshua Sports & Entertainment, Inc. に帰属し、許可なく転載・複写・転送等することは禁止されております。

This translation of article is provided by DAIFUKU QubicaAMF under the permission of Joshua Sports & Entertainment, Inc.. Copying/Duplicating/Modifying of this article without the permission by Joshua Sports & Entertainment, Inc. is prohibited.

### ☉ ボウラーズ ジャーナル インターナショナル

2009年9月号より

ボールデータ	
カバーストック	F75 リアクティブパール
コア	サイドウェイズ[対称]
カラー	ダークブルー / シルバーパール
表面仕上げ	600 番サンディング後 2000 番ポリッシュ
慣性(RG)	2.56
フレアポテンシャル	RG 0.055
コンディション	ヘビー
重さ	12 - 16 ポンド



**コア** ... この対称コアは RG2.56 と 0.055 のフレアポテンシャルで平均約5インチほどフレア幅を提供。シリンダー型のコアは、AMF300 としては新しいデザインです。

**カバーストック** ... このカバーは、フックレーティングが“F75”なので、オイルに上手に対応することができます。色は、ブルーパールとライトブルーパールのミックスです。表面は、最初に600番でサンディングした後、2000番でポリッシュされています。レスポンスは、オイル上では平均的で、ドライで非常に速く反応します。

**メーカーのコンセプト** ... メガフリクションで大きな成功を収めたので、AMF は今度は同じコアを使って、より奥の方でシャープに動くボールを開発しました。サイドウェイズのパールカバーは、フロントとミッドレーンは良く走り、最後の20フィートで雷のごとく動きます。

**テスト結果** ... サイドウェイズは、フロントとミッドレーンに適度な量のオイルがあり、キャリアダウンでベトベトになったレーンでなければその名の通りよく動きました。フロントとミッドレーンのオイルが多すぎると、ブレイクポイントを奥へ押しすぎてしまうようです。ファールラインから40フィートまでが薄めのオイルの場合、逆にもたついて最後までエネルギーを温存できません。この場合は、より表面をポリッシュすれば解決します。バックエンドリアクションは、キャリアダウンが酷くなければ、良いリアクションが得られました。まとめると、サイドウェイズはミッドレーン後半を好む、ヘビーロールのストロングアーク系のボールと言えるでしょう。

**推奨コンディション** ... サイドウェイズらしさを保つには、貴方に合った強めのドリルパター

ンを選び、PAPの下にバランスホールをあけます。我々がテストした結果、ピンからの位置が5～6インチのような保守的なレイアウトとPAP～4インチのレイアウトを比べると、板目4～5枚ほど曲がり幅が減り、ボールの良さが十分に発揮されませんでした。これらの結果は、2つのPBAパターンと、2つのケーゲルパターン、そして3つの一般的なハウスコンディションでテストしたものです。サイドウェイズという名前だからといって、いつもそのような動きであると誤解せず、どんなボールでも、ボールは常にレーンコンディションによってリアクションが変わることを忘れないでください。